

令和3年度 嘉麻市教育委員会 生涯学習課 美術館係 事業総括表

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	R 3 年 度 総 括					
					Plan	Do		Check		
					実施目標	実施時期	具体的内容	成果	課題	自己評価
1	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	① 文化芸術活動推進事業	文化芸術活動推進事業	<p>○市文化協会などの関係団体と連携し、市民の主体的、自主的な展示活動やアトリエでの創作活動を支援する。</p> <p>○地域などで子どもの創作活動を支援し、子どもたちの豊かな感性を育む。</p> <p>○学校などと連携して、児童生徒などの芸術作品鑑賞や創作活動の支援や出前授業を行い、子どもたちの豊かな感性を育む。</p>	4月～3月	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を徹底し、臨時休館することなく、関係団体の施設利用や作品展や地域における子どもたちの創作活動支援をおこなった。</p> <p>○ときめき学習 9時～12時</p> <p>・夏のときめき学習 紙粘土でシーサ作り、沖縄戦学習 碓井①7/21 ②7/28 13人 山田①7/30 8人 嘉穂(宮野・足白・千手)①7/29 ②8/4 ③8/5 計48人 ・冬のときめき学習 ミニ門松作り(ペットボトルキャップとストロー) 碓井①12/25 13人</p> <p>○コロナ禍の中、多くの学校で美術館での作品鑑賞等は見送られたが、稲築東中学校で出前授業を実施した。 ・3/2 ①12時～12時50分(3年2組) ②13時45分～14時35分(3年1組)</p> <p>【内容】</p> <p>・織田廣喜および美術館の紹介。 ・アートカードを使用した「名探偵ゲーム」。 ・織田廣喜の代表作「讃歌」についての解説・紹介。</p> <p>○嘉麻市地域教材として美術館及び織田廣喜とその作品の活用を図るため、市内各小中学校主幹教諭(教務主任)に説明を行った。</p>	<p>○予定された10展覧会のうち7展覧会を実施。嘉麻市文化祭やMOA美術館嘉飯桂児童作品展や小学校児童画作品展は中止となったが、筑豊地区の中学校や高等学校の総合文化祭が開催され、多くの中学生、高校生が来館した。</p> <p>○新たに「ふくおか県障がい児者美術展」や国際小児がんデー「輝く子どもたちの作品展」が開催され、県内各地から多くの人の来館があり、好評で、美術館と織田廣喜の周知もできた。</p> <p>○市民アトリエは水墨、日本画の教室で利用され、休止することなく学びを継続でき、琴平美術展覧会で創作作品の発表ができた。</p> <p>○地域公民館と連携した子どもたちの創作活動支援ではシーサ作りを通して、沖縄戦や沖縄の文化について学んだ。</p> <p>○ときめき学習の参加をきっかけに、土曜日などに美術館を訪れる小学生が増えた。</p> <p>○卒業前の稲築東中学校3年生に、織田廣喜及びその作品の魅力を伝えることができた。</p> <p>○教育普及事業の事例や鑑賞を手助けするデジタルツールを紹介し、また、作品鑑賞をとおして、織田廣喜及びその作品を児童生徒が鑑賞する視点について学習する機会を提供できた。</p>	<p>○新型コロナウイルスの感染状況などにより実施が遅れたりできない恐れがある。</p> <p>○子どもたちへ織田廣喜をテーマにした内容の取組を行いたい。</p> <p>○コロナが授業の時間数や内容などに影響を及ぼしており、今後アウトリーチや連携事業を呼びかけるなど美術館から学校現場へ向けて積極的にアプローチしていく必要がある。</p> <p>○学校や嘉麻市教育研究所と連携し、美術館や地域教材の周知と活用を図る。</p>	A
2	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	② 美術館運営管理事業	美術館運営管理事務	<p>○快適な環境で安心して、芸術鑑賞や創作、展示などの文化芸術活動が行え、また、憩いの場となるように施設の維持管理と運営を行う。</p> <p>○広く美術館や事業などの周知に務める。</p>	4月～3月	<p>○継続して保守点検や清掃、警備など施設の維持管理に必要な業務を委託し、維持管理運営に努める。</p> <p>○指定管理者制度導入に向けて取組む。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を徹底する。</p> <p>○展覧会リーフレットの作成と配布。</p> <p>○市広報紙、美術館ホームページ、SNSなどの管理と活用。</p> <p>○常設展示作品の展示替え。</p> <p>○所蔵品検索システムやアプリポケット学芸員の活用。</p>	<p>○継続した維持管理により快適な環境の中で安心して施設の利活用、芸術作品鑑賞を行うことができた。</p> <p>○令和4年4月から5年間の美術館の指定管理者導入が決定し、民間の創意工夫を導入し活用を図ることが出来るようになった。</p> <p>○リーフレット、市広報、ホームページ以外にSNSを活用した情報発信や幅広くイベントの告知、美術館の周知・広報活動ができた。</p> <p>○年2回、常設展示の入替を行うことにより収蔵作品を活用し、さらに織田廣喜の魅力を伝え、リピーターの集客を図ることができた。</p> <p>○デジタルツールの活用により作品検索が容易となり、ポケット学芸員によりどこにいても作品鑑賞や作品紹介ができるようになった。</p>	<p>○美術館の快適な環境の保持と更なるサービスの充実。</p> <p>○耐用年数を超過している空調設備(加湿器など)及び電気設備の維持管理。</p> <p>○美術館の幅広い周知と効果的な情報発信。</p> <p>○指定管理者との連携。</p>	A
3	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	② 美術館運営管理事業	碓井琴平公園管理事業	<p>○隣接する芝生広場が、人々の憩いの場として快適かつ安心して利活用できるよう環境美化と維持管理を行う。</p>	4月～3月	<p>○敷地内や公園内トイレの清掃。</p> <p>○定期的な芝生の刈込み及び栄養剤、除草剤の散布。</p> <p>○オカメ笹、支障木の剪定。</p> <p>○朝夕の解錠、施錠時の敷地内巡回。</p> <p>○風倒木、ゴミの不法投棄などの監視と対応。</p>	<p>○適切な維持管理により、平日、休日を問わず市民の散歩やレクリエーション、近隣児童生徒の遊び場となっている。</p> <p>○市内小学校の遠足地として定着してきており、プレーパークでも活用されている。</p> <p>○支障木などの剪定により敷地内の見通しが確保され、防犯対策となった。</p> <p>○小学校での注意喚起により敷地内の投石等が激減した。</p>	<p>○公園の維持管理の継続。</p> <p>○公園利用のマナーの注意喚起。</p> <p>○公園の周知と利用をのPR。</p>	B
4	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	② 美術館運営管理事業	収蔵作品等の保存及び管理	<p>○関係資料の収集及び収蔵作品などの適切な保管管理と幅広い活用を図る。</p>	4月～3月	<p>○データ管理システム「IBミュージアムSaaS」による管理と情報公開。</p> <p>○収蔵作品の修復及び写真撮影。</p> <p>○既存のフィルムのスキャニング。</p> <p>○空調設備保守点検業者との連携による温湿度の維持管理。</p> <p>○収蔵庫の清掃及び燻蒸。</p> <p>○虫菌害の防止対策。</p> <p>○常設展示作品の入替。</p>	<p>○データ管理システムにより情報管理が最適化され、館内外における収蔵作品データ活用がより容易になった。</p> <p>○収蔵作品の写真撮影を行い、ポジフィルムとデジタルデータの2種類の蓄積を行うことができた。</p> <p>○フィルムのスキャニングによりデータ保管され、幅広く活用できるようになった。</p> <p>○保守点検委託業者との連携により、迅速かつ適切に温湿度の調整を行い、作品を快適な環境の中で継続して維持管理でき、活用を図ることができた。</p> <p>○収蔵庫2の燻蒸を実施し、虫菌害の予防が出来た。</p> <p>○収蔵品の修復により、作品の維持と展示活用ができるようになった。</p>	<p>○毛髪式自記温湿度計の計測値にばらつきがあり、定期的な校正は必要。</p> <p>○データロガーによる温湿度管理体制の強化。</p> <p>○春先や梅雨時期など湿度が不安定になる時期に、恒常的な温湿度管理のため、空調機保守点検業者と連携を密にする。</p> <p>○作品の良好な状態保持と活用を図るため、定期的なコンディション確認や修復作業の実施、収蔵庫の燻蒸。</p> <p>○重要区間である展示室及び収蔵庫の環境設備に努める。</p>	A

番号	アクションプラン主要瀬策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	R 3 年 度 総 括					
					Plan	Do		Check		
					実施目標	実施時期	具体的内容	成果	課題	自己評価
5	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	春のコレクション展2021	○幅広く優れた芸術作品鑑賞を行う機会を提供することにより、芸術への興味と関心を深め、心豊かな感性を磨く機会を提供する。 ○織田廣喜作品を中心に地域縁の作家などの作品を所蔵している。この収蔵作品を常設展示とは別にコレクション展として展示公開し、当館の誇る名品の魅力を紹介し、郷土の作家への興味と関心を深める機会を提供する。	4月1日 ～ 5月9日 /29日間 ※緊急事態宣言のため6月13日(日)までを短縮して実施。	「LIFE～開館25周年記念展～織田廣喜と織田廣喜美術館の人生」開催。 【内 容】 ○展示作品46点(織田廣喜44点、織田廣比古[長男]1点、織田きじ男[次男]1点) および当館に関連する織田の展覧会を記録した資料を複数展示。 【関連事業】 ○「織田廣喜美術館リアルすごろくで遊んでみよう」 ○「自分で作れるお祝いグッズ」 【入館者数】 95人 3人/日(一般48人、小中学生2人、無料45人) ※3月6日～5月9日(47日間) 入館者数238人 5人/日(一般75人、高大生2人、小中学生3人、無料158人)	○収蔵作品を活用し織田廣喜と息子の作品を同時に楽しめる機会を提供できた。 ○過去の展覧会の記録を通して、織田廣喜美術館の25年の歩みを振り返り、人々がここに美術館がある意味を再認識することができた。	○今後も、新しい視点で収蔵作品を活用したコレクション展を継続し、鑑賞機会を提供する。 ○作品及び作家の調査を日常的に行い、コレクション展に反映させ、充実させる。 ○周知方法を工夫する。	B
6	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	中原淳一展 美しく装うことの大切さ	○幅広く優れた芸術作品鑑賞を行う機会を提供することにより、芸術への興味と関心を深め、心豊かな感性を磨く機会を提供する。 ○特別企画展を観光資源として、集客を図る。 ○現代においても古びた印象を与えない中原の数々の仕事が、彼のゆるぎない一貫した平和を愛する心を基に創り上げられたものであったことを紹介する。 ○前年度の「花村えいこと漫画」に続き、日本の少女像のイラストの源流とも言える中原淳一の描いた少女群とともに、織田廣喜の少女たちの魅力も紹介していく。	10月1日 ～ 10月17日 /15日間 ※緊急事態宣言により9月18日から変更して実施。	【内 容】 ○原画を主に書籍、付録など104点を展示。 関連グッズ販売(28種類)や記念写真コーナーを設置。 【関連事業】 ○9月18日:中原利加子講演会(嘉麻市図書館読書講演会)※緊急事態宣言のため中止 【入館者数】 ○980人 65人/日(一般494人、高大生21人、小中学生23人、無料442人)	○昨年度は新型コロナウイルス感染症予防対策として延期した中原淳一展は、期間短縮となったが感染症拡大予防対策を徹底し実施することができ、平日も来館者が多く二世帯、三世帯と作品を楽しんでいた。また、知人を誘い来館されるリピーターもいた。 ○中原淳一展だけでなく、織田廣喜の常設展も鑑賞される人も多く、織田廣喜の周知を図ることができた。 ○再発注もできるなど関連グッズを買い求められる方も多く、完売に近い状態であった。また、多機能レジのレンタルによりレジ業務が簡素化でき、売り場の業務が円滑に処理でき、混雑が軽減できた。	○特別企画展については、コレクション展等と比べ来館者も多く、新型コロナウイルスの感染状況によっては、入館制限、中止ないし延期が想定される。 ○4月からは図書館、美術館は指定管理者が管理運営を行うため、連携し事業に取り組み、内容を更に充実し集客アップを目指す。	A
7	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	第76回県美術展覧会筑豊展	○幅広く優れた芸術作品鑑賞を行う機会を提供することにより、芸術への興味と関心を深め、心豊かな感性を磨く機会を提供する。 ○関連事業を実施し集客を図る。	【第1期】 洋画 10月20日 ～ 10月24日 【第2期】 日本画、写真、デザイン 10月27日 ～ 10月31日 【第3期】 書 11月3日 ～ 11月7日 /15日間	【内 容】 一般公募の部の入賞作品と筑豊地区の入選作品、県美術協会の入賞作品と筑豊地区会員の作品を展示。 ○洋 画 66点(公募46点、会員20点) 日本画 17点(公募14点、会員 3点) 写 真 47点(公募41点、会員 6点) デザイン 18点(公募14点、会員 4点) 書 121点(公募99点、会員22点) 計269点 【入館者数】 ○747人 49人/日 (第1期298人、第2期232人、第3期217人) (一般123人、高大生3人、小中学生9名、無料612人) 【関連事業】 ○「合評会」(各会期最終日の県美術協会会員による) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	○新型コロナウイルス感染症の影響で2年ぶりの開催となったが、市民からの期待感からか入館者数は前回とほぼ同じであった。 ○合評会が感染症拡大予防対策で中止となったが代替策として、各部門の審査委員の講評を会場にて配布し、好評であった。	○令和3年度の県美術展覧会は、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、変更または中止になる場合がある。	A
8	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	春のコレクション展2022	○幅広く優れた芸術作品鑑賞を行う機会を提供することにより、芸術への興味と関心を深め、心豊かな感性を磨く機会を提供する。 ○織田廣喜作品を中心に地域縁の作家などの作品を所蔵している。この収蔵作品を常設展示とは別にコレクション展として展示公開し、当館の誇る名品の魅力を紹介し、郷土の作家への興味と関心を深める機会を提供する。	3月12日 ～ 3月31日 /14日間	「身近なすてきな風景展」開催。 【内 容】 ○展示作品 83点 ・織田廣喜の生まれ育った故郷の風景 13点 織田廣喜(油彩)9点(パステル)1点、山口利明(写真)3点 ・旅の途中で出会った風景(嘉麻市近隣)38点 築山節生(鉛筆)8点(水彩)19点、江藤正雄(木版)11点 ・嘉麻市内の風景 32点 四宮佑次(写真) 32点 【関連事業】 ○ギャラリートーク 3月13日(日)、20日(日)13:30～14:00 会場にて ○SNSプレゼント企画「#身近なすてきな風景」募集 期間:3月12日(土)～4月10日(日)	実施中	実施中	—

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	R 3 年 度 総 括					
					Plan	Do		Check		
					実施目標	実施時期	具体的内容	成果	課題	自己評価
9	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	美術館ボランティア事業	○円滑な講座運営を支援するなど、活動をとおして喜びを感じ、充実した時間を過ごすことができるよう、美術館とボランティア相互の連携を図る。	4月～3月	○アートキッズのサポート ○福岡教育大、県立大から各1名新規加入 計7人	○今年度も引き続きコロナ禍の中、会議が開かれず、また感染予防や様々な要因から事業の支援者が少なかった。	○アートキッズの見守りだけでなく美術館の活動に関わり、美術館や織田廣喜などの芸術と人をつなげるサポーターの養成を行う必要がある。 ○新たな取り組みの中で、新たにボランティアを募集する。	C
10	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	アートキッズ	○様々な創作体験や芸術に関する知識を習得できる講座を実施し、創作活動の楽しさを実感でき、学びを深める機会を提供する。 ○作品鑑賞や創作活動を通じて、子どもたちの豊かな感性と創造力などを培う機会を提供する。	7月18日～3月20日 5回講座 ※緊急事態宣言、まん延防止のため2回中止。	自宅でも再現可能な内容を設定し、アートキッズだけでは終わらない、日々の暮らしの中でアートやモノづくりに親しむ人材の育成を目指しました。 【受講生】 ○小学生15人募集(応募者31人)※嘉麻市在住優先 1年生5人、2年生3人、3年生3人、4年生3人、6年生1人 【受講日時等】 全7回 日曜日13時～15時 市民アトリエ 近畿大連携事業④⑤は10時～16時 碓井住民ホール 当初予定 ①7/18 ②7/25 ③9/12 ④11/20 ④11/21 ⑥3/6 ⑦3/13 (③は緊急事態宣言、⑥はまん延防止のため中止、⑦は3/20に変更) 【内 容】 ○①②はLINEスタンプ作り、③はブローチ作り、④⑤は巣箱作り、⑥⑦は美術館飾り ⑦については、感染予防対策を考慮して内容を変更。「美術館を探検しよう」(クイズを考えながら展示室及びバックヤードを見学)と「紙バック作り」(作品を入れて持ち帰る)の2グループに分かれ実施した。 【講 師】 ○①②⑥⑦は担当職員、③は河村陽介、④⑤は近畿大学産業理工学部金子教授(建築・デザイン学科)・高橋教授(情報学科)及び学生9人 【関連事業】 ○アートキッズ作品展「キリンの巣箱」展示(1/5～1/30) ○おだびのアートプログラム2021～アートに触れる～	○コロナ禍の中、中止になった回もあるが、新型コロナウイルス感染症の感染状況などにより実施が遅れたり出来なくなる恐れがある。	○新型コロナウイルス感染症の感染状況などにより実施が遅れたり出来なくなる恐れがある。	A
11	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	アートキッズ展	○様々な創作体験や芸術に関する知識を習得できる講座を実施し、創作活動の楽しさを実感でき、学びを深める機会を提供する。 ○作品鑑賞や創作活動を通じて、子どもたちの豊かな感性と創造力などを培う機会を提供する。	1月5日～1月30日/20日間	【内 容】 ○近畿大学産業理工学部との連携事業で制作した巨大な「キリンの巣箱」(高さ約2.5m)を展示室5に展示。各作品についてパネルや「喋る音声録音機」により制作についての子どもたちの声を紹介。 ○過去の近畿大学との連携事業をパネルにて紹介。 【入館者】 ○104人(5人/日) 期間以外は美術館のエントランスに展示。	○思い思いの色で塗られた巨大な「キリンの巣箱」は人々の目を楽しませ、アートキッズ事業の広告塔となりました。 ○パネルを通して過去7年間の連携事業の歩みを振り返ることができ、教育普及事業の取組内容を周知することができた。	○ホームページで事業の紹介を行っているが、今後もこうした作品展示を通じて、人々に美術館の取組を紹介することも必要。	B
12	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	夏休みおだびアートラボ～夏休み宿題解決・ガッチリ新学期～	○様々な創作体験や芸術に関する知識を習得できる講座を実施し、創作活動の楽しさを実感でき、学びを深める機会を提供する。 ○作品鑑賞や創作活動を通じて、子どもたちの豊かな感性と創造力などを培う機会を提供する。	①8月21日 ②8月22日 各午前と午後 ※緊急事態宣言のため中止。	自由工作や絵画系の課題解決を支援し、保護者や子どもの負担軽減を図るとともにアートの楽しさを体感する機会を提供する。 【受講生】 小学生15人募集(①②とも午前午後 各15人) ①8/21(午前4人、午後5人) ②8/22(午前10人、午後6人) 計25人(重複含む) 【日 時】 8/21 8/22 午前の部10時～11時30分 市民アトリエ 午後の部13時30分～15時 市民アトリエ 【内 容】 ①ポスターをかこう ②土クレヨンをつくろう	○緊急事態宣言のため事業は中止となったが、参加児童へ当日配付するプリントを送付し、課題解決の参考にしてもらった。 ○アートラボの内容を動画化し、誰でも活用できるようにYou Tubeで公開した。	○新型コロナウイルス感染症の感染状況などにより実施が遅れたり出来ない恐れがある。	B

番号	アクションプラン主要瀬策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	R 3 年 度 総 括					
					Plan	Do		Check		
					実施目標	実施時期	具体的内容	成果	課題	自己評価
13	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	大人の学美塾 カリグラフィー講座	<p>○専門家の指導のもと、様々な創作体験や芸術に関する知識を習得できる講座を実施し、創作活動の楽しさを実感でき、学びを深める機会を提供する。</p>	<p>①1月30日 ②2月 6日 ③2月13日 3回講座</p> <p>※まん延防止のため延期。</p>	<p>美術館に集まり人と人がつながる時間を設け、人々が交流しながら美術に親しむ機会と文化意識の向上を図る。 カリグラフィーについて学び、必要なペンを自作し、実際に筆記することでカリグラフィーを身近に体験してもらい、日頃から親しみ学びを深める機会を提供する。</p> <p>【受講生】 ○18歳以上(嘉麻市在住、在勤優先)12人募集 応募者17人(市内11人、市外6人) ※まん延防止等重点措置のため中止となり抽選行わず。</p> <p>【日 時】 ○1/30 2/6 2/13 全3回 日曜日 10時～12時30分 市民アトリエ</p> <p>【内 容】 ○カリグラフィーの歴史を学び、基礎的な字体を練習する。 ○アルミ缶を活用し、カリグラフィー用のペンを作成する。 ○練習用紙を用いて封筒を作成する。 ○作品は碓井図書館のガラスケース内に展示、紹介する。</p> <p>【関連事業】 ○おだびのアートプログラム2021～アートに触れる～</p>	<p>○17人の応募があったが、まん延防止等重点措置を受け、次年度に延期で考えている。</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症の感染状況などにより実施が遅れたり出来ない恐れがある。</p>	B
14	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	おだびのアートプログラム2021～アートに触れる～	<p>○専門家の指導のもと、様々な創作体験や芸術に関する知識を習得できる講座を実施し、創作活動の楽しさを実感でき、学びを深める機会を提供する。</p>	<p>3月11日 ～ 3月30日 /14日間</p>	<p>令和3年度の教育普及事業のまとめとともに図書館利用者向けに美術館の教育普及事業の紹介と周知を行う。</p> <p>【期 間】 ○3月11日～3月30日 図書館休館日を除く</p> <p>【会 場】 ○嘉麻市立碓井図書館 ガラスケース</p> <p>【内 容】 ○アートキッズ、夏休み冬休みときめき学習など令和3年度に実施した教育普及事業の紹介や作品展示を行う。</p>	<p>実施中</p>	<p>実施中</p>	—